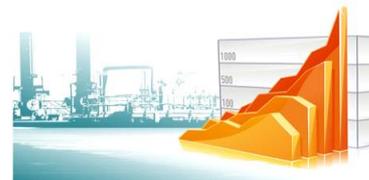


# ぎふ経済レポート



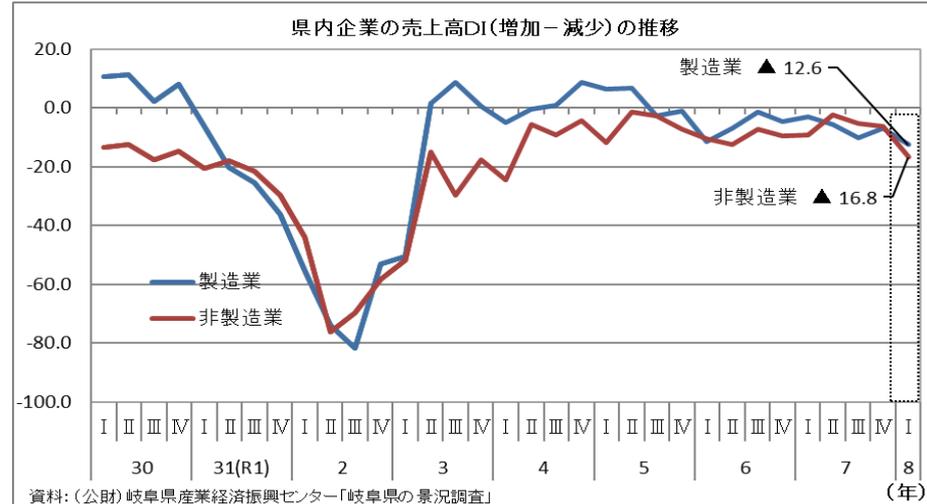
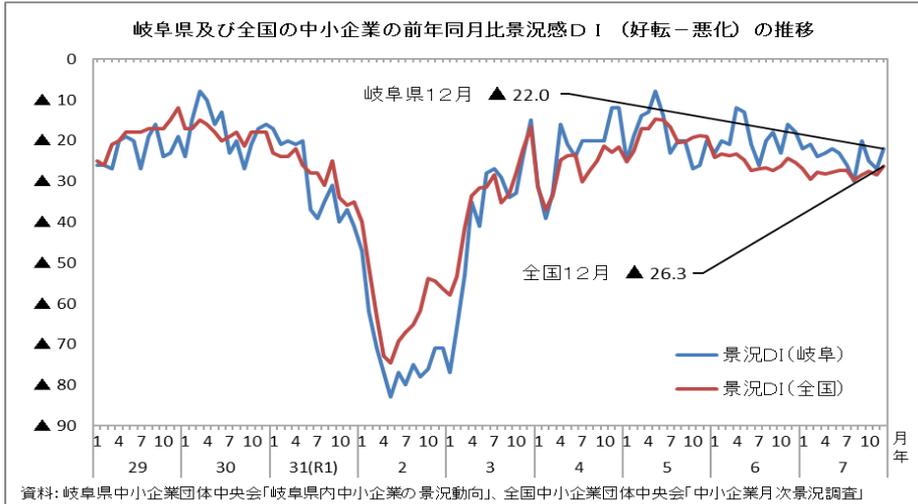
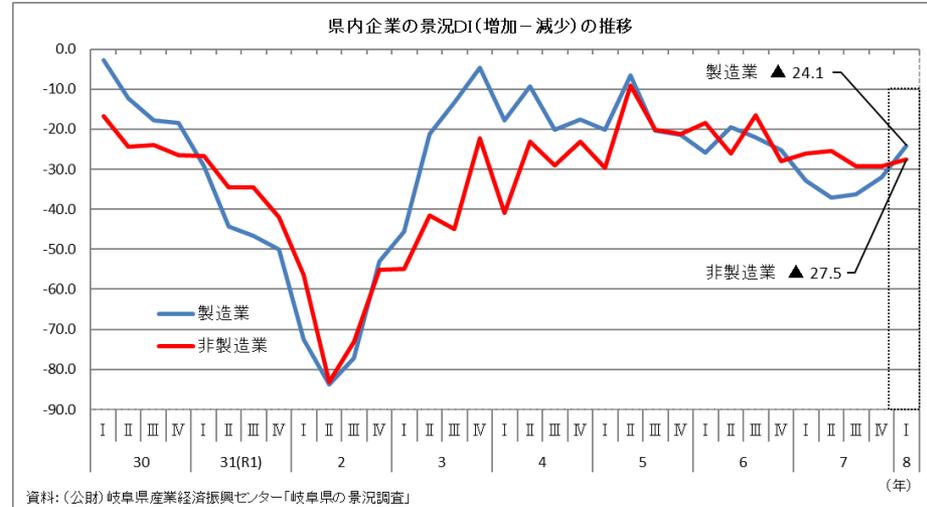
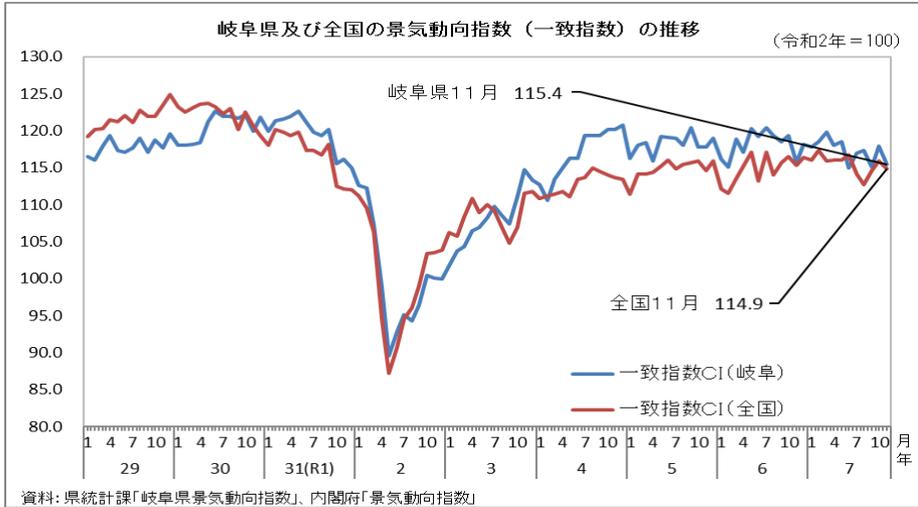
令和8年1月分  
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは1月26日～28日を中心に実施し、2月20日時点で作成。

# 景気動向

- 11月の景気動向指数(一致指数)は、115.4  
で前月比▲2.5ポイントとなった。
- 12月の県内中小企業の景況感は、▲22.0  
で前月比5.0ポイント上昇となった。

- 1-3月期の景況DI見通しは、製造業で前期比  
8.0ポイント、非製造業で1.7ポイント上昇と  
なった。売上高DI見通しは、製造業で前期比  
▲5.7ポイント、非製造業で同▲10.6ポイント  
となった。



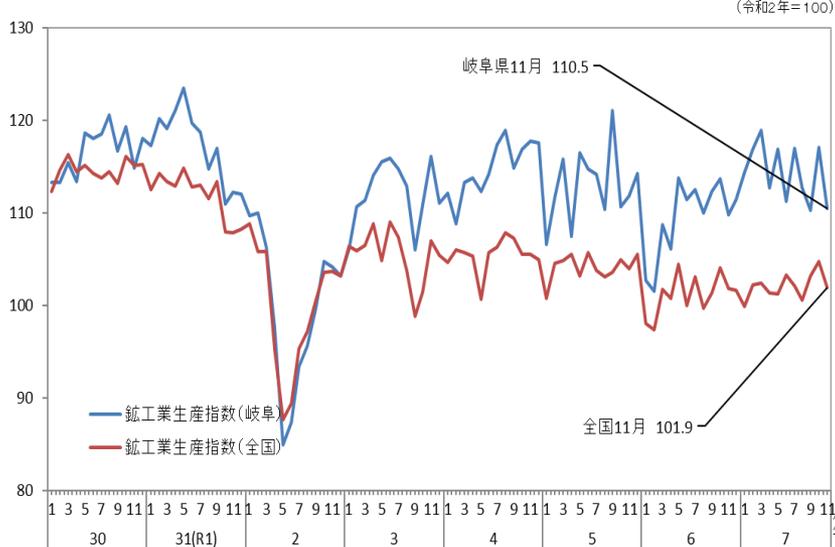
# 製造業

○11月の県内鉱工業生産指数(季節調整済)は、110.5で前月比▲5.6%と2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

○11月の全国の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.9で前月比▲2.7%と2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

○11月の主な産業の指数は、鉄鋼業で前月比2.5%、非鉄金属で同0.5%上昇となった。一方で、金属製品で同▲10.7%、プラスチック製品工業で同▲8.4%、はん用で同▲5.9%、輸送機械で同▲4.7%電気機械で同▲4.5%、窯業・土石で同▲2.2%、化学工業で同▲0.5%となった。

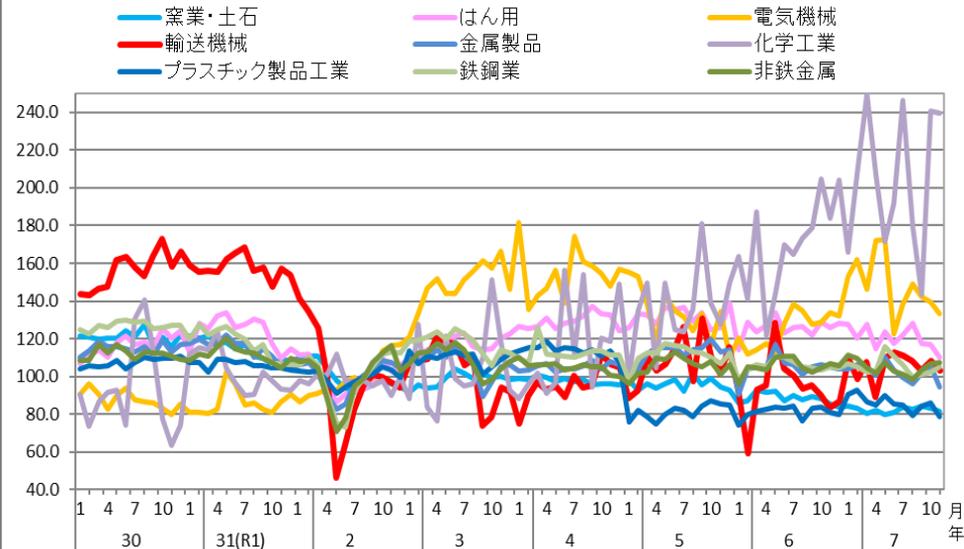
鉱工業生産指数の推移



資料:県統計課「岐阜県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



資料:県統計課「岐阜県鉱工業指数」

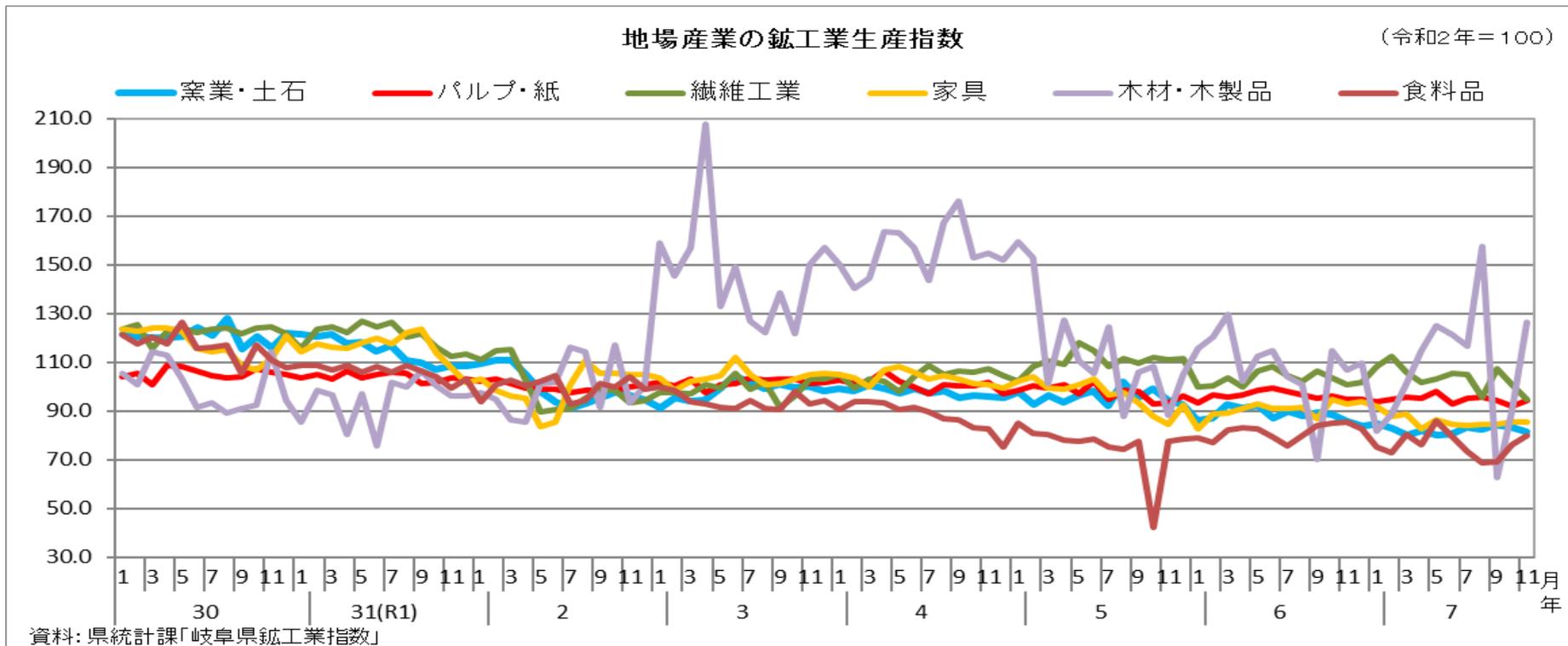
## 現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 最低限の受注数は確保できたが、引き続き業績的には厳しい見込み。(輸送用機械器具)
- ◆ 数字上は前月より若干上向きにはなっているが、基本的には状況は変わっておらず、業界全体としては厳しい状況。(輸送用機械器具)
- ◆ 樹脂加工部門では自動車向け製品の受注が増加しているが、電子加工部門ではサーバー向けの顧客の受注が減少している。(プラスチック製品)
- ◆ 防衛関係の受注は安定していたが、工作機械全般は減少しており、1月の決算は目標を下回る。(はん用)

## 製造業-2

○11月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比40.2%、食料品で同4.7%、パルプ・紙で同2.3%上昇した一方で、家具で同率、繊維工業で同▲5.9%、窯業・土石で同▲2.2%となった。



### 現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

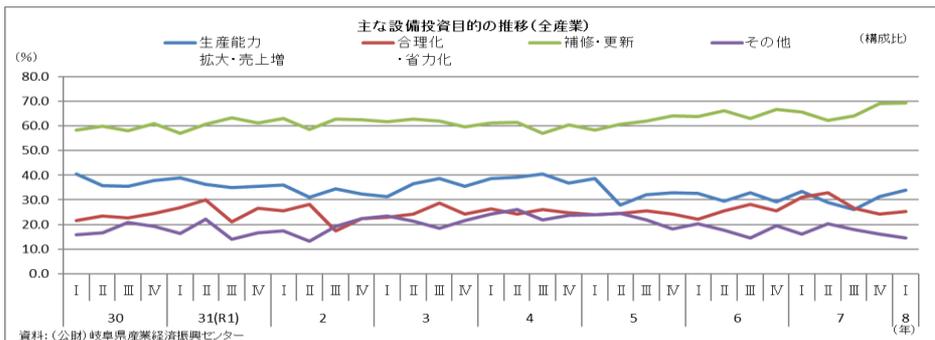
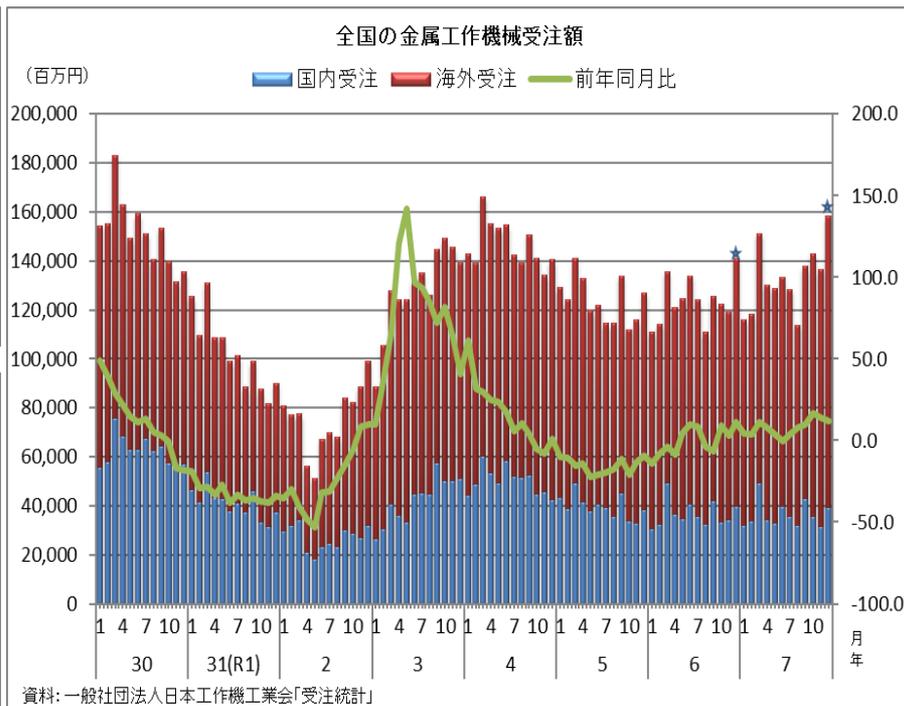
- ◆ 生産現場では各工程とも稼働が悪く、雇用調整助成金を用いて減産している事業所もある。(繊維・アパレル)
- ◆ 国内販売は好調を維持しているが、海外販売はアメリカ向けの販売において出荷待ちの状況が発生。(刃物)
- ◆ タイル市場は中国産のものが多いため、今後の動きに注視している。(陶磁器)
- ◆ 照明事業はインバウンドが好調でホテルからの入替などの注文が多いが、和紙の小売事業については低迷している。(紙)



# 設備投資

○1-3月期の設備投資実施見通しは前期比▲1.7ポイント、設備投資意欲DI見通しは同2.1ポイント上昇となった。設備投資実施見通しの目的別では「生産能力拡大・売上増」で前期比2.6ポイント、「合理化・省力化」で同1.1ポイント、「補修・更新」で同0.2ポイント上昇となった。

○12月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比12.0%増加と6ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同17.2%増加と15ヶ月連続で前年同月を上回ったものの、国内受注は同▲1.1%と2ヶ月連続で前年同月を下回った。



## 現場の動き

- ◆ 業績の回復に伴い、社全体で設備投資の希望が多くなっている。(輸送用機械)
- ◆ 設備投資は抑制しており、無人化・省人化を進める高コストな専用ラインは極力導入せず、人による作業も残した汎用型ラインへの切り替えを進めている。(輸送用機械)
- ◆ 物流関係で、倉庫の建設や運送車両の購入がよく見られる。(金融機関)

## 為替・原油・原材料価格の動向に伴う経済変動の影響について

- ◆ 燃料費が高止まりで安定したため、固定費が高い状態が続いているが、業績的な面で影響が出るほどではない。(輸送用機械器具)
- ◆ 物価高による衣料品の買い控えにより、景況感は非常に良くない。(繊維・アパレル)
- ◆ 人件費及び原材料費の高騰により、販売価格を約10%引き上げた。消費者の値上げ許容度は高まっているものの、価格上昇により他社製品へ顧客が流れるのを懸念している。(刃物)

## 金利引き上げによる影響について

- ◆ 影響はまだないが、3月以降は借入を少なくしていく計画。(輸送用機械器具)
- ◆ 経費が増加するため余分な借入はしない方針。(プラスチック製品)
- ◆ 一部資金調達が難しくなっているところがあるが、具体的な対応はまだできていない。(陶磁器)
- ◆ 銀行借入の金利も上がっているので、設備投資等には躊躇する。(木工)

## 日中関係の悪化による影響について

- ◆ 工作機械部品について、今月はスポットで中国向けの受注があった。(輸送用機械器具)
- ◆ レアアースの輸出規制問題について、出荷先の各自動車メーカーに影響があれば、自社にも影響が及ぶため注視している。(輸送用機械器具)
- ◆ 中国によるレアアース規制が自社の材料仕入れに影響がないか調査している。(輸送用機械器具)
- ◆ レアアースの規制で取引先に影響が出るのではないかと懸念があるが、生産量を少なくするといったような具体的な話は出ていない。(輸送用機械器具)
- ◆ インバウンド需要はそれほど変化ないが、中国人観光客が減少している。(多治見市商店街)

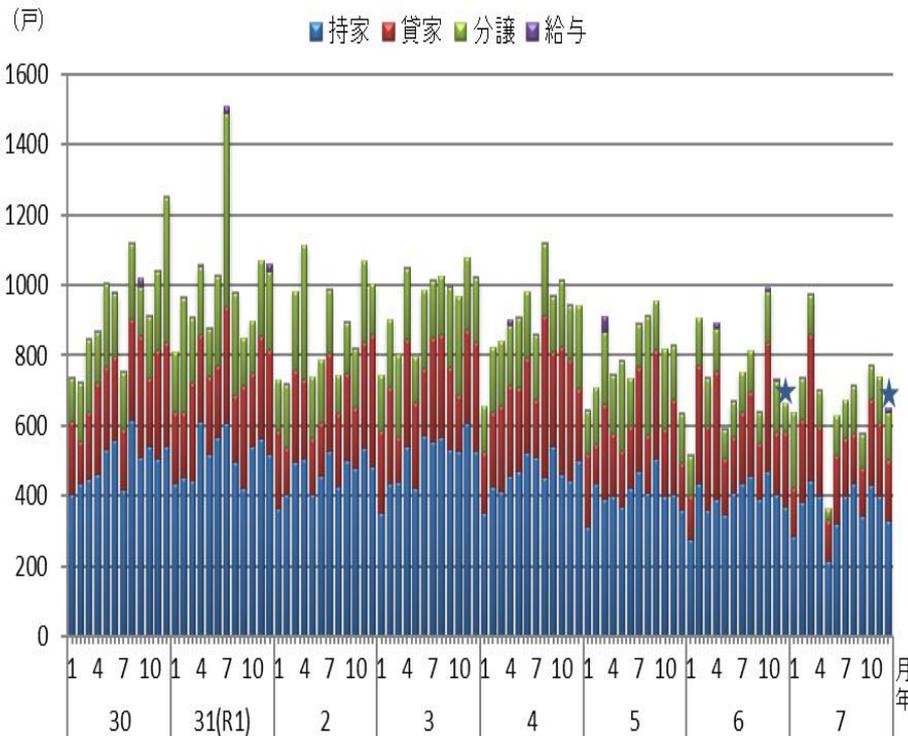
# 住宅・建築投資

○12月の住宅着工戸数は、前年同月比▲1.8%と2ヶ月ぶりに減少。

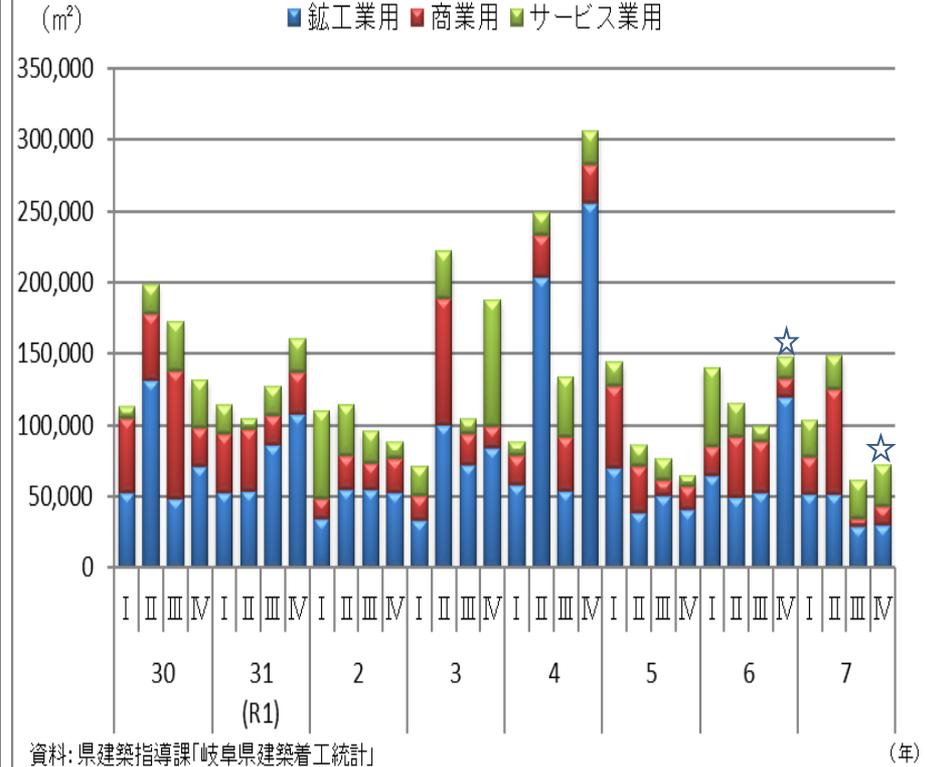
○分譲で前年同月比69.1%増加、貸家で同▲20.6%、持家で同▲10.6%となった。

○10-12月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比88.1%、商業用で同2.6%上昇、鉱工業用で同▲75.2%となり、全体で同▲51.4%となった。

新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)

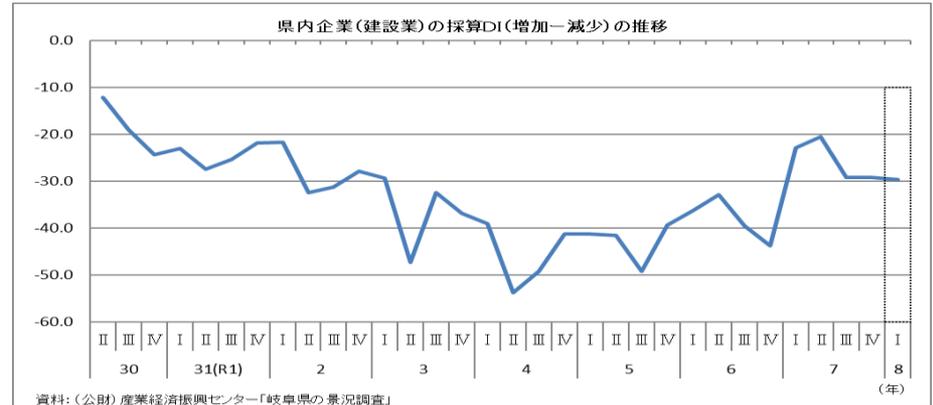
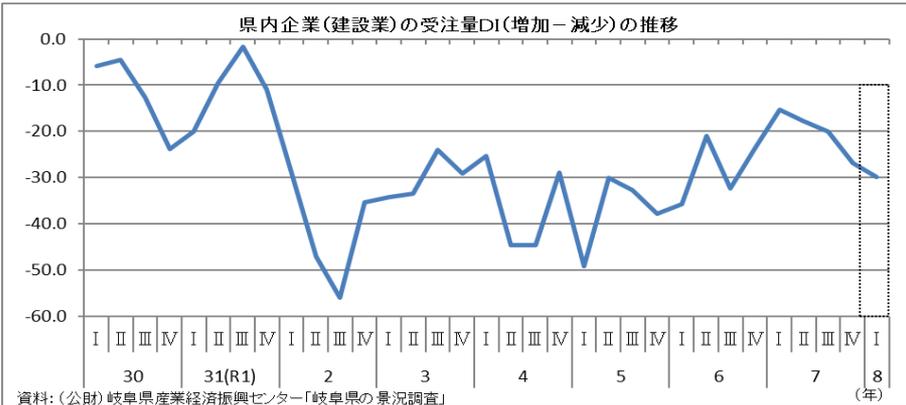
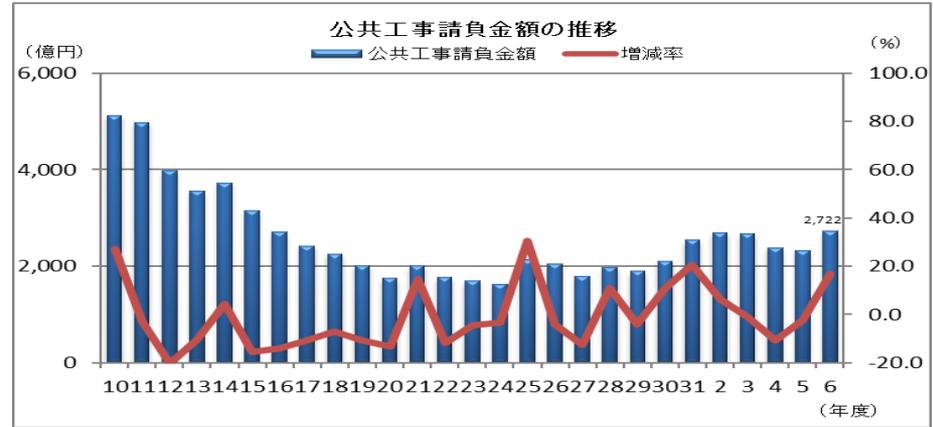
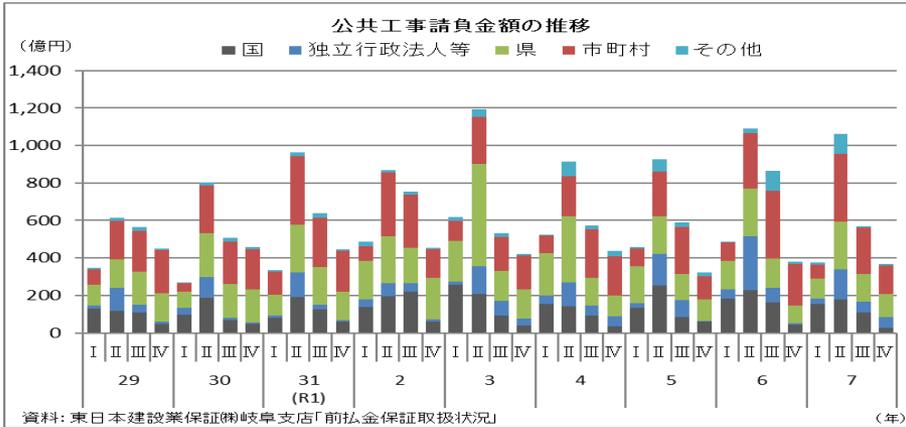


## 現場の動き

- ◆ 年末の駆け込みにより11~12月の申込数が増加したことで、12月以降の契約数は伸びている。(住宅)
- ◆ 対前月比で原木の入荷は増えておらず、原木の引き合いにも変化はない。(卸売)
- ◆ 1月は落ち込みやすいが今年は顕著であり、見通しが立てにくい。(卸売)

# 建設工事

- 10-12月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比667.3%、県で同30.5%増加した一方で、国で同▲38.3%となり、全体で同▲3.0%となった。
- 県内建設業の1-3月期の受注量DI見通しは前期比▲3.0ポイントとなり、同採算DI見通しは▲0.5%となった。



## 現場の動き

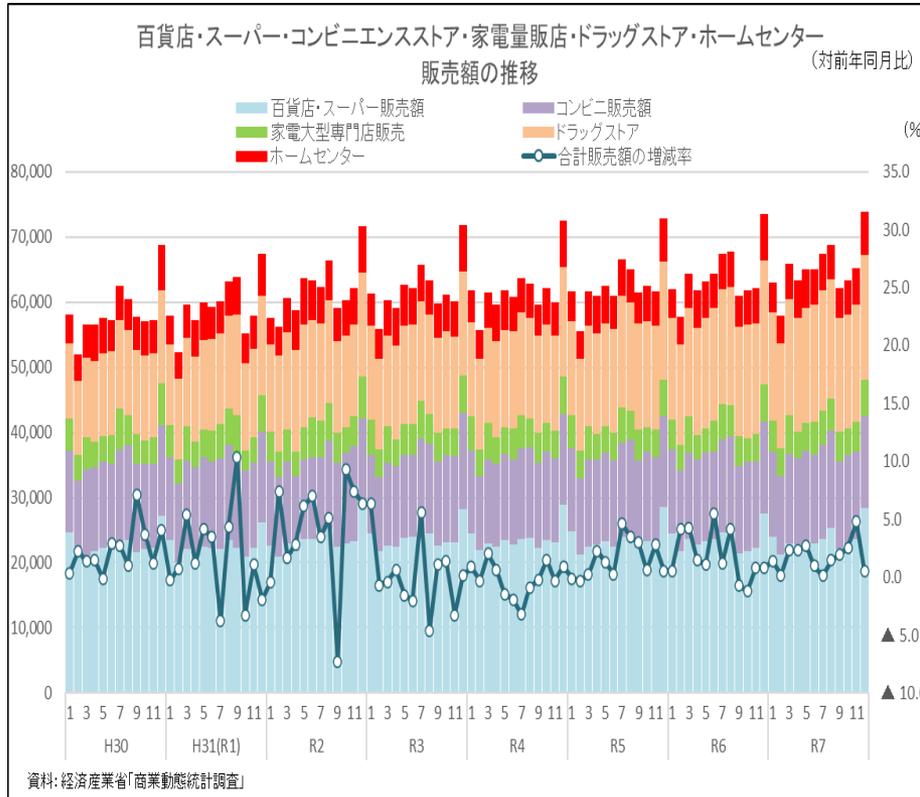
- ◆ 物価上昇が止まらないことに加え、公共工事の減少または遅延が影響し、売上は前年比の80%程度に減少。
- ◆ 土木・建築部門共に職員が不足。受注量確保、工期設定・調整は問題。

(以上、建設)

# 個人消費(流通・小売)

○12月は百貨店・スーパーで前年同月比3.1%、ドラッグストアで同0.7%上昇した一方で、コンビニで同率、ホームセンターで同▲5.6%、家電大型専門店でも同▲3.1%となった。全体では14ヶ月連続となる0.6%の上昇となった。

○12月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比2.9%と7ヶ月ぶりに前年同月を上回った。軽自動車でも同4.8%と2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。合算では同3.6%と、前年同月を6ヶ月ぶりに上回った。



## 現場の動き

- ◆ 年度累計で客数は過去最高。売上も歴代4位。シネコンの好調も続いている。
- ◆ 年末年始は好調に推移したが、1月中旬からは降雪・気温低下・路面凍結が増えて、来場・売上は鈍化。  
(以上、県内商業施設)

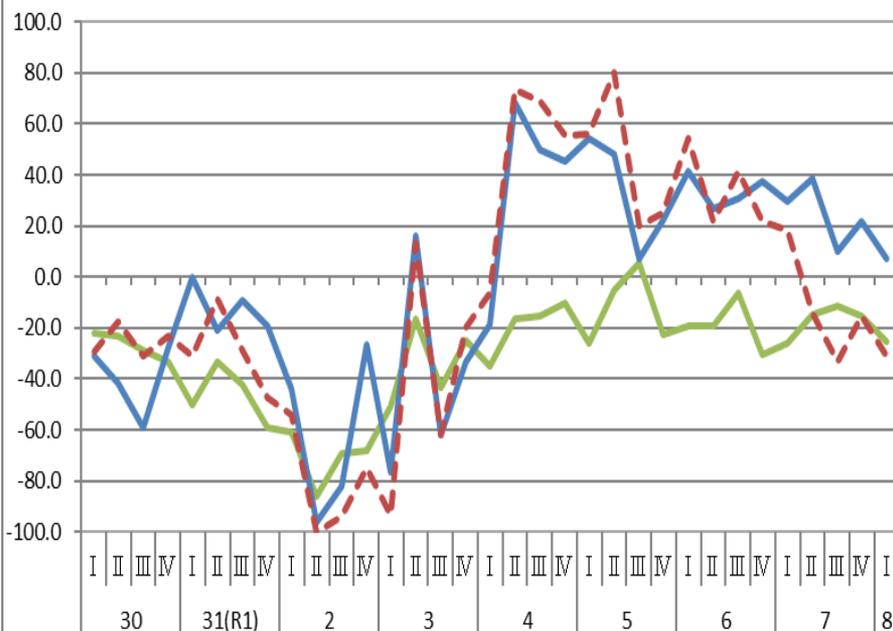
## 個人消費(流通・小売)－2

○1－3月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比▲15.4%、サービス業(余暇関連)で同▲14.4ポイント、小売業で同▲9.9ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、飲食店で前期比同値となった一方で、小売業で同▲10.9ポイント、サービス業(余暇関連)で同▲7.2ポイントとなった。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

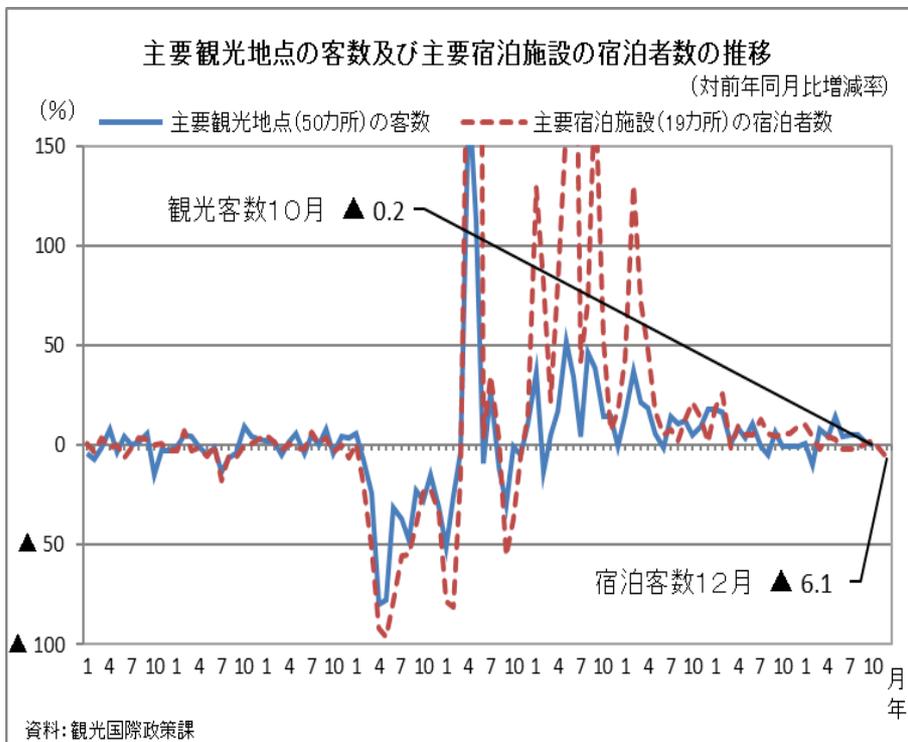
### 現場の動き

- ◆ 昨年対比で見ると殆ど変わらない売上だが、コロナ前と比べると半分以下で、挽回方法に苦慮している。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 年間の集計をした結果、値上げした商品の販売数が落ち、値上げをしていない低価格の商品が伸びるという傾向が顕著に見られた。(大垣市商店街)

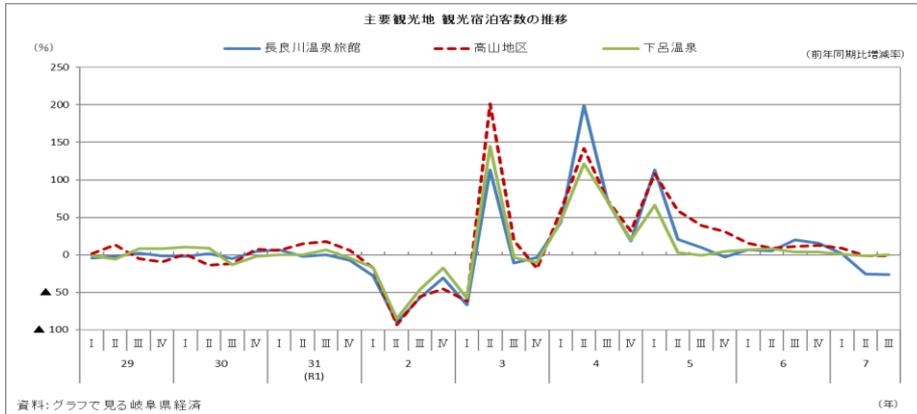
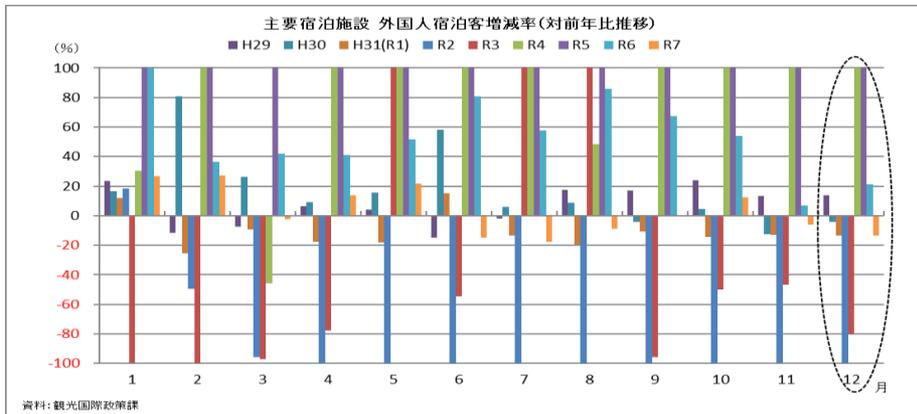
# 観光

○主要宿泊施設における12月の宿泊者数は、前年同月比6.1%減、令和元年同月比では、7.4%減となっている。

※主要観光地における12月の観光客数については、集計中。



○12月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、20.4%増となっている。

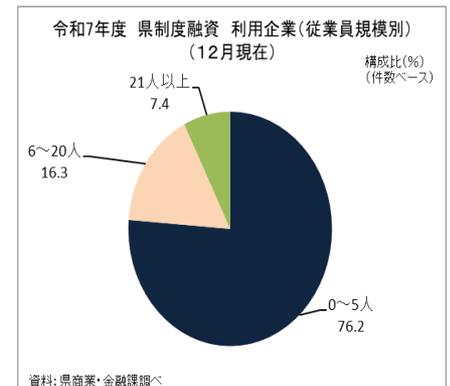
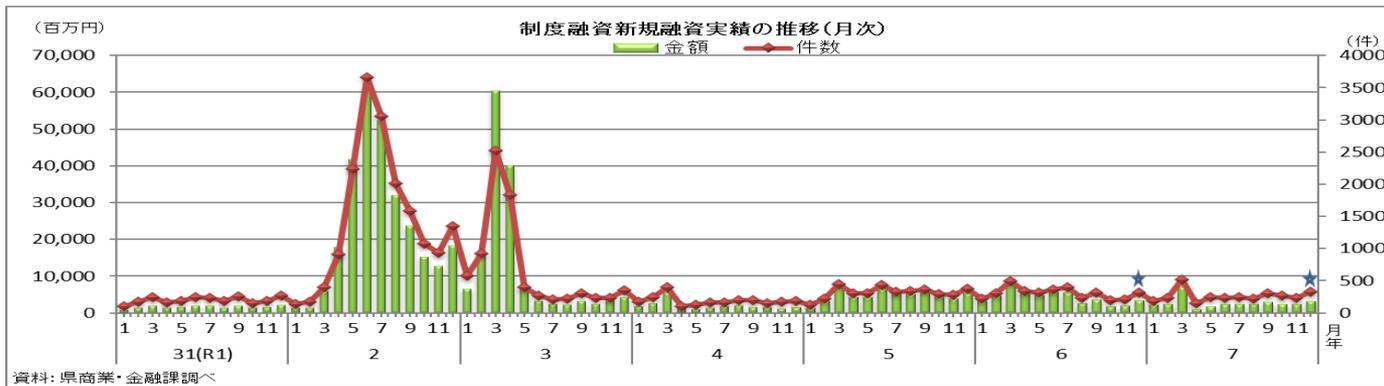
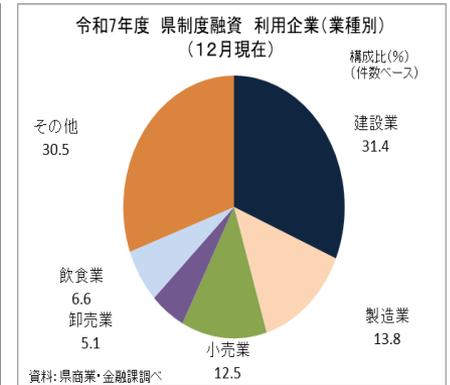
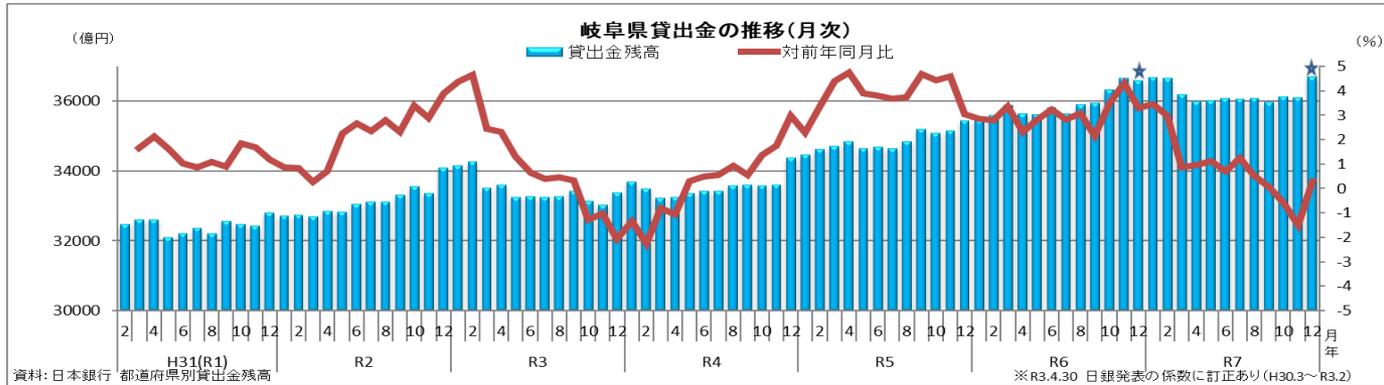


## 現場の動き

- ◆個人客の割合が高い。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人件費や原材料等の高騰が続いている。(岐阜市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難。(岐阜市、下呂市の宿泊施設)
- ◆もともと中国からの予約が少ない宿泊施設が多く、渡航自粛の影響は少ない。(岐阜市、郡上市、高山市、下呂市の宿泊施設)

# 資金繰り

- 12月の岐阜県貸出金残高は、3兆6,699億円で前年同月比0.3%と3ヶ月ぶりに増加。
- 12月の制度融資実績は、金額が3,305百万円で前年同月比▲5.7%と3ヶ月ぶりに減少、件数は323件で同1.6%増加となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の76.2%を占めている。



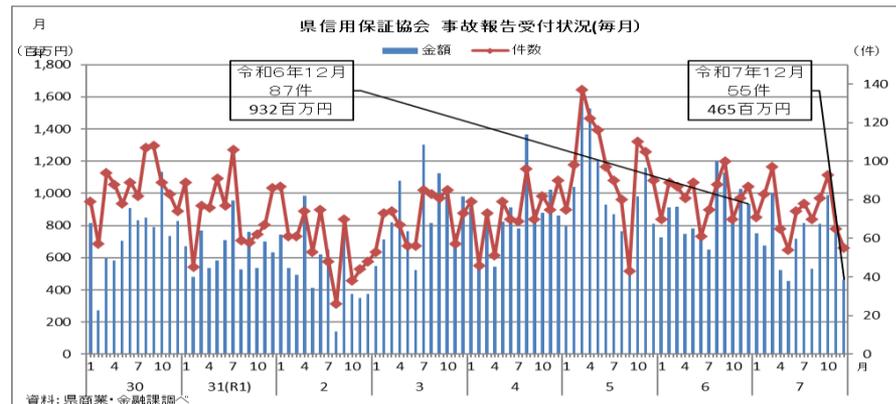
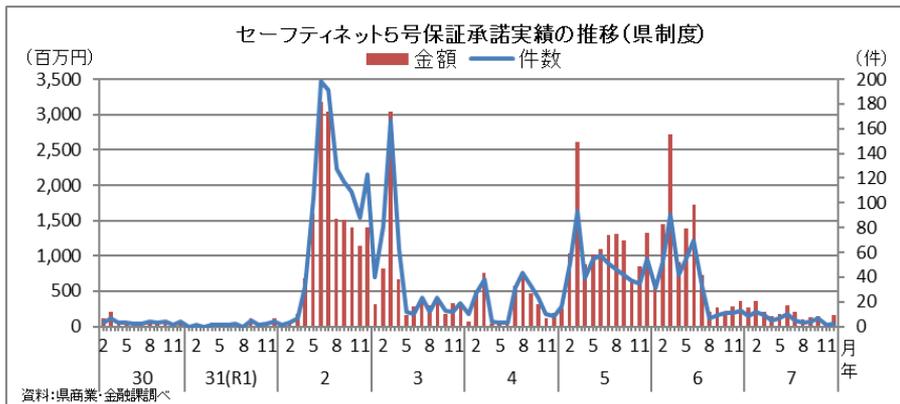
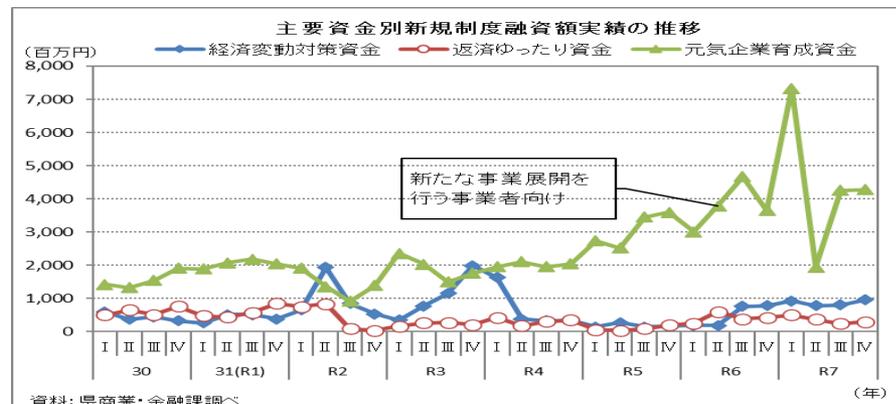
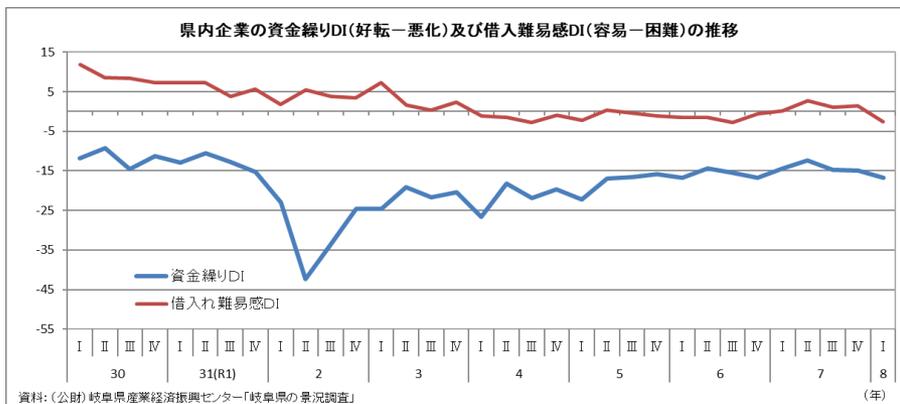
## 現場の動き

- ◆ 資金需要について、期末・年度末に向けて設備導入を行う企業が一定数あることから、通常月に比べ件数・金額ともに伸びた。
- ◆ 金利上昇局面において、長期固定の商品のニーズが高まっている。

(以上、金融機関)

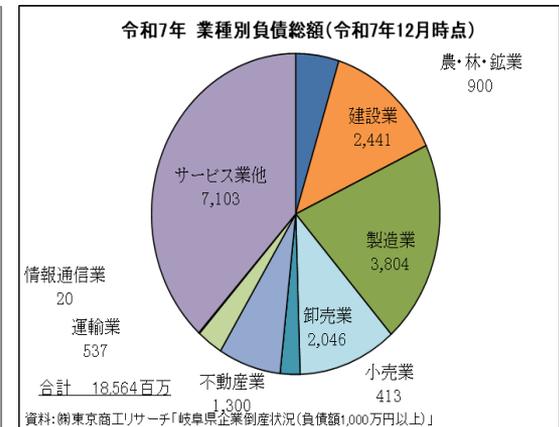
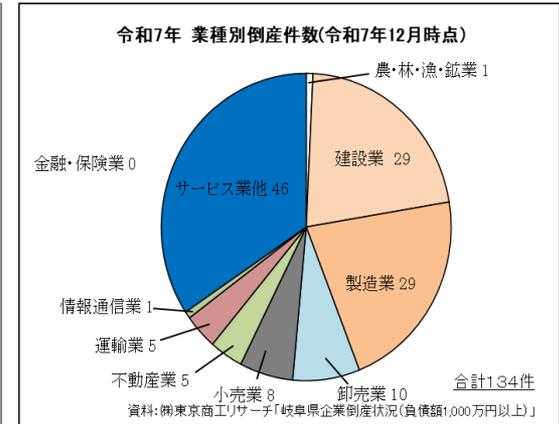
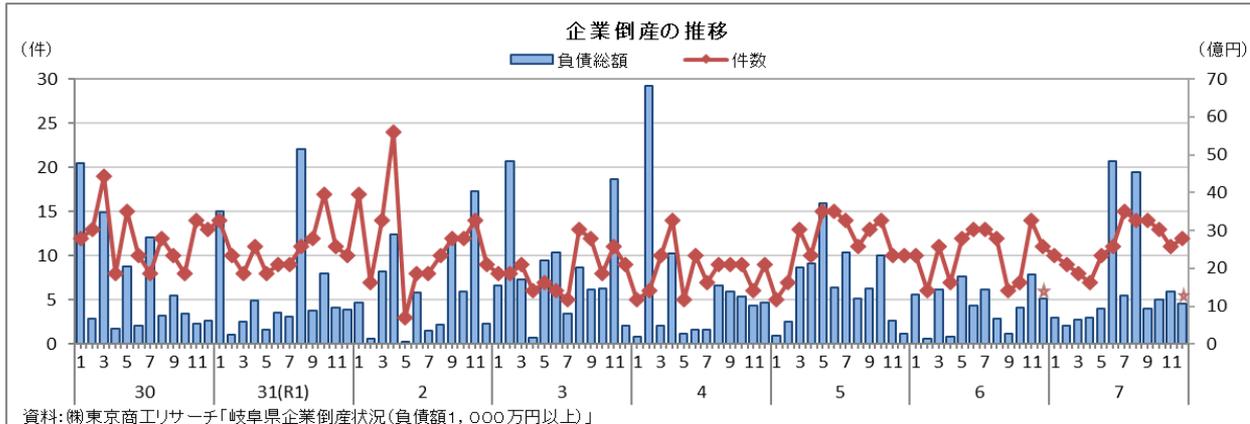
# 資金繰り-2

- 1-3月期の資金繰りDI見通しは▲16.8で、前期比▲1.9ポイントとなった。同借入難易感DI見通しは▲2.5で、前期比▲3.9ポイントとなった。
- 10-12月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比21.4%、元気企業育成資金で同17.3%増加した。一方、返済ゆったり資金では同▲31.2%と3期連続で減少となった。
- 12月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が2件で前年同月比▲84.6%、金額155百万円で同▲57.6%となった。
- 12月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は55件で前年同月比▲36.8%、金額は465百万円で同▲50.2%となった。



# 倒産

○12月単月の倒産件数は12件、負債総額は前月比▲332百万円の1,058百万円となった。  
 ○令和6年12月は負債総額1億円以上の倒産が4件発生したのに対して、令和7年12月は同倒産4件となった。負債総額は前年同月比▲155百万円となった。



## 専門機関の分析(東京商工リサーチ・1月26日時点)

- ◆ 経済情勢としては、雇用や所得環境は緩やかに改善しているものの、原材料の価格高騰、物価上昇による個人消費への影響、米国の関税政策による景気の下振れリスクなど、依然として先行き不安定な状況にある。トランプ関税は懸念すべきであるが、中部地区経済を支える自動車メーカー及びその企業群は強固な財政基盤を有していることもあり、今のところは影響を吸収しているといえ、協力会社や関連する他産業への影響は限定的となっている。

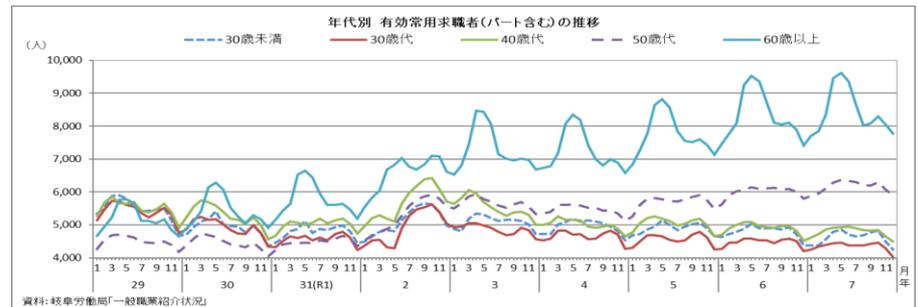
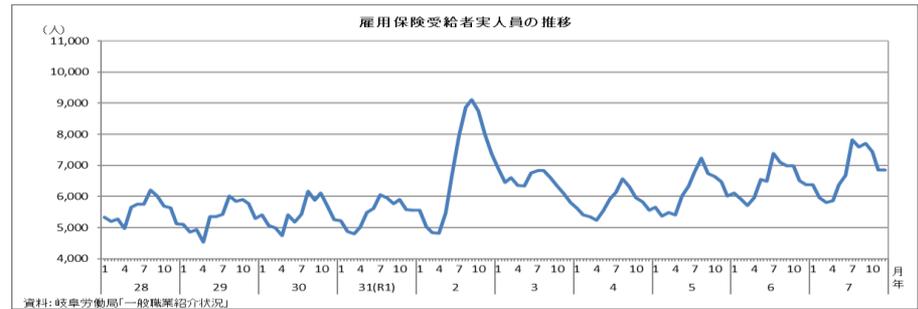
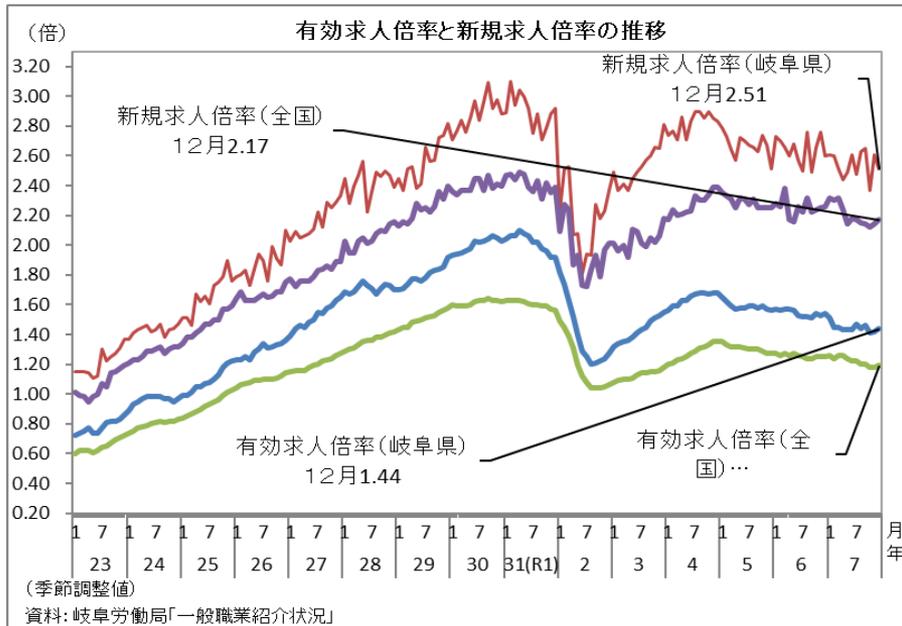
# 雇用

○12月の有効求人倍率は1.44倍と、前月比0.02ポイント上昇となった。

○12月の新規求人倍率は2.51倍と、前月比▲0.10ポイントとなった。

○12月の雇用保険受給者人員は、前月比▲0.1%となった。

○有効常用求職者は、50歳代では34ヶ月連続で上昇、60歳代では4ヶ月連続で上昇した。



## 現場の動き

- ◆ 製造難度が高い製品の受注割合が増えており、品質管理に対応できる人材が不足している。(輸送用機械)
- ◆ 管理・品質保証部門で人員が不足している状況のだが、日本人の採用が難しかったため、人員余剰となった他社から特定技能2名を受け入れた。(非鉄金属)
- ◆ 最低賃金の継続的な上昇による収益の変化について、中期的な予測を立てた。(プラスチック製品)
- ◆ 生産現場は高齢化が進み、新規の若い人材の確保が難しいため、業界各団体が就活ツアーを企画し、学生へのアピールを実施している。(繊維・アパレル)
- ◆ 賃上げについて、初任給も上がっているため、既存社員との不公平感が出ないように可能な限り、従業員一人一人と面談して話をしている。(木工)

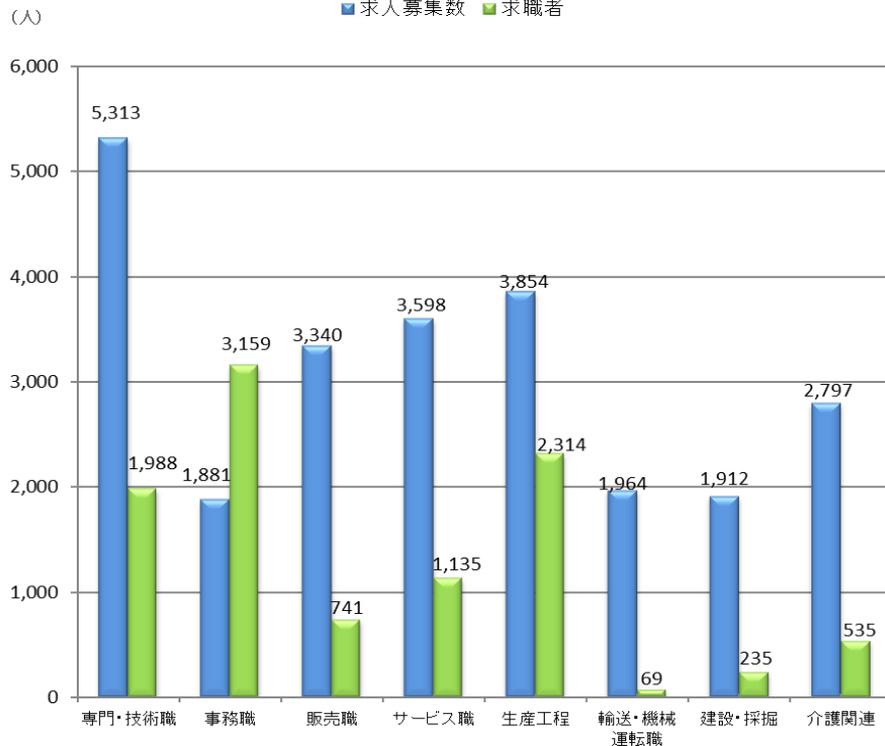
# 雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で8.14倍、介護関連で5.23倍、販売職で4.51倍、サービス職で3.17倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.60倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

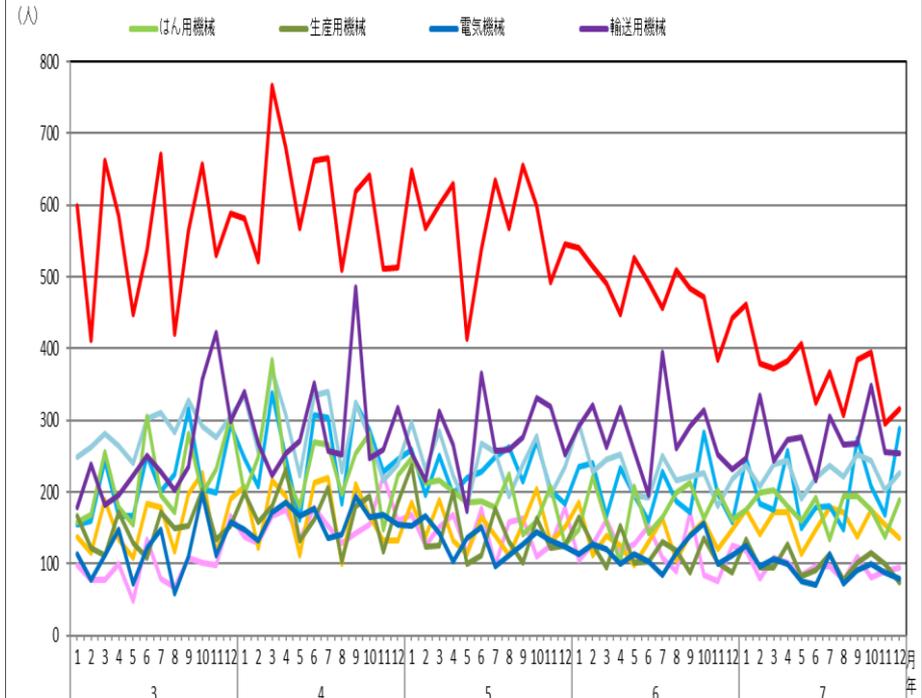
○12月の主要産業別の新規求人数は、窯業・土石で前年同月比82.9%、はん用で同17.4%、輸送用機械で同10.0%、金属製品で同4.1%増加した一方で、食料品製造で同▲28.9%、電気機械で同▲28.6%、繊維工業で同▲24.0%、生産用機械で同▲14.9%、プラスチック製品で同▲8.1%となった。

12月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

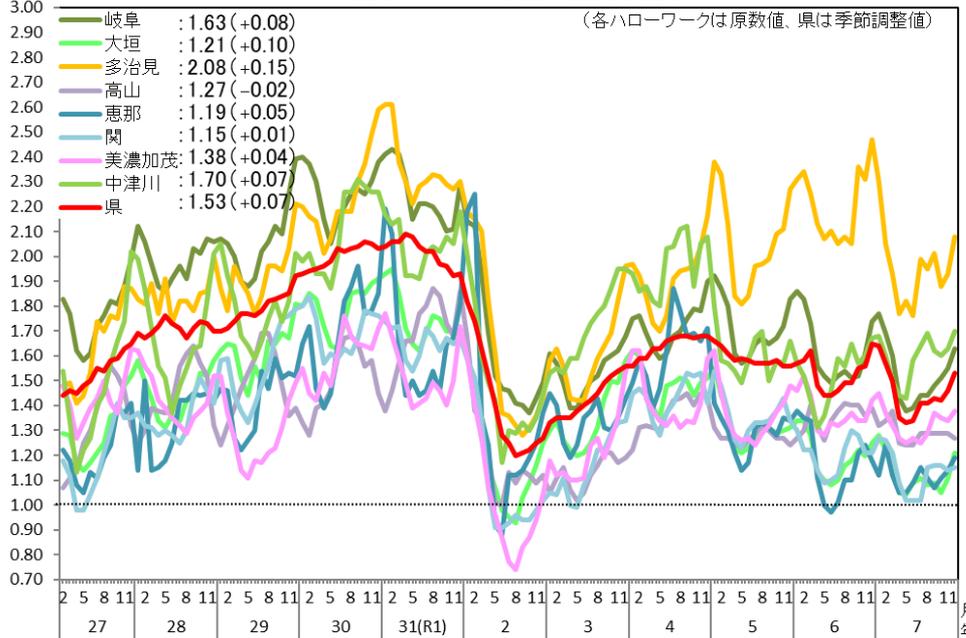
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

# 雇用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む  
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○12月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、大垣、多治見、恵那、関、美濃加茂、中津川で前月比増加となった。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <窓口の様子>※前月比

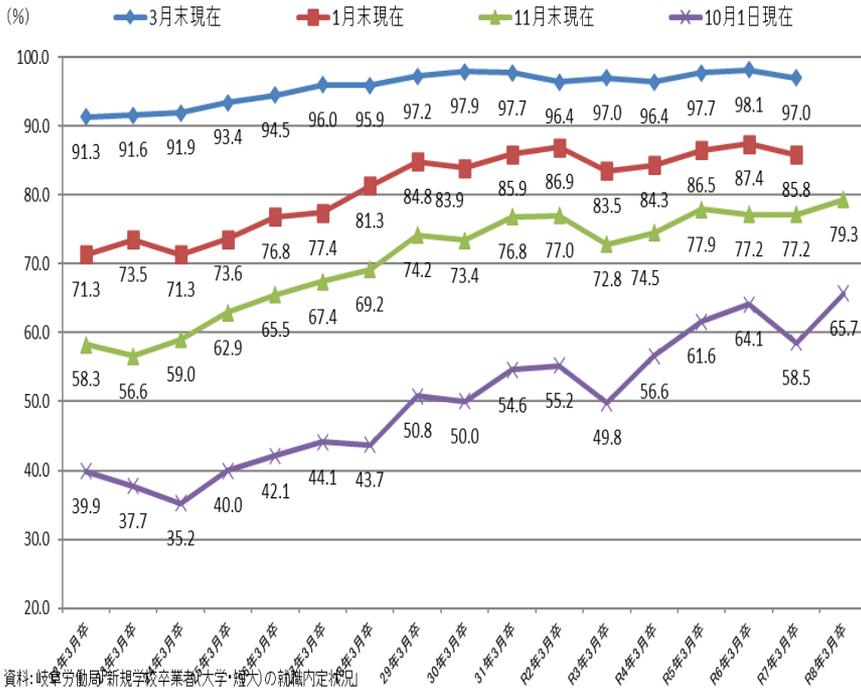
- ◆多治見、関、美濃加茂、中津川で混雑している、岐阜、高山、恵那で同じくらい、大垣でやや空いている状況。

# 雇 用(大学・短大新卒者の就職)

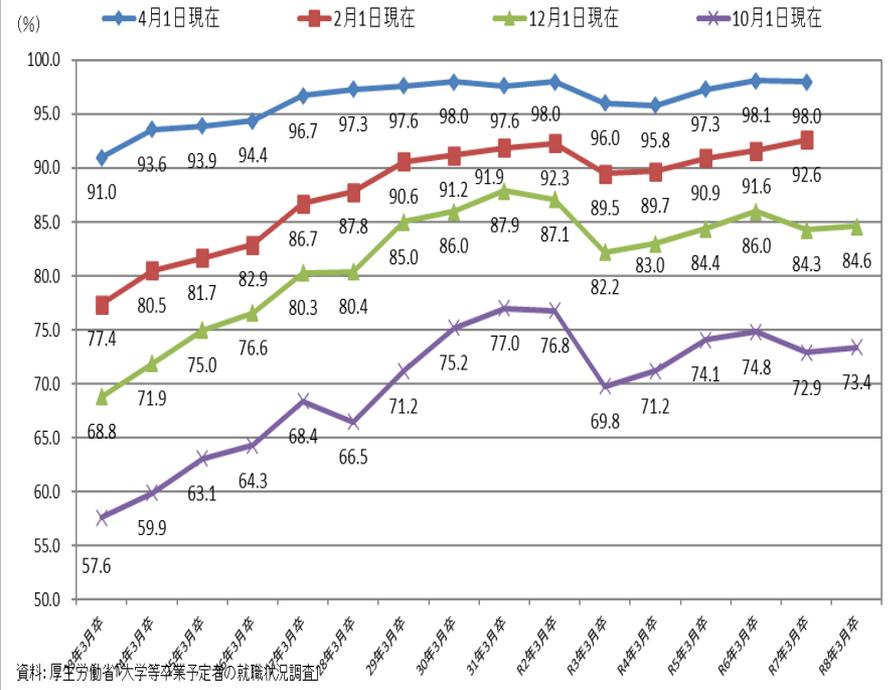
○岐阜県の令和7年11月末現在の大学・短大卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は、79.3%であり、前年同時点と比べ2.1ポイント上昇となった。

○全国の令和7年12月1日現在の大学卒業者(令和8年3月卒業)内定率は84.6%であり、前年同時点と比べ0.3ポイント上昇となった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



## 現場の動き(2026卒、2027卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

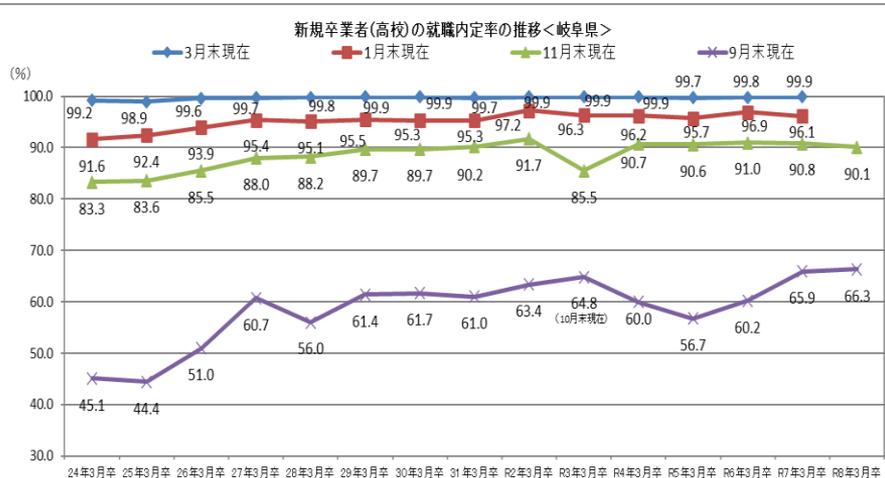
- ◆ 大手企業の採用人材の厳選と、中堅企業の採用疲れにより、27卒以降で買い手市場に移行していくのではないかと懸念している。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

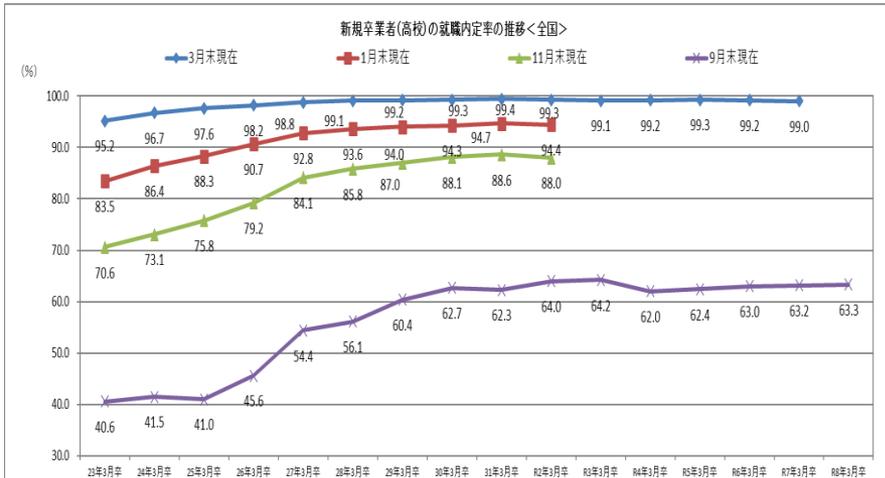
# 雇用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和7年11月末現在の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は90.1%であり、前年同時点と比べ▲0.7ポイントとなった。

○全国の令和7年9月末時点の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は63.3%であり、前年同時点と比べ0.1ポイント上昇した。

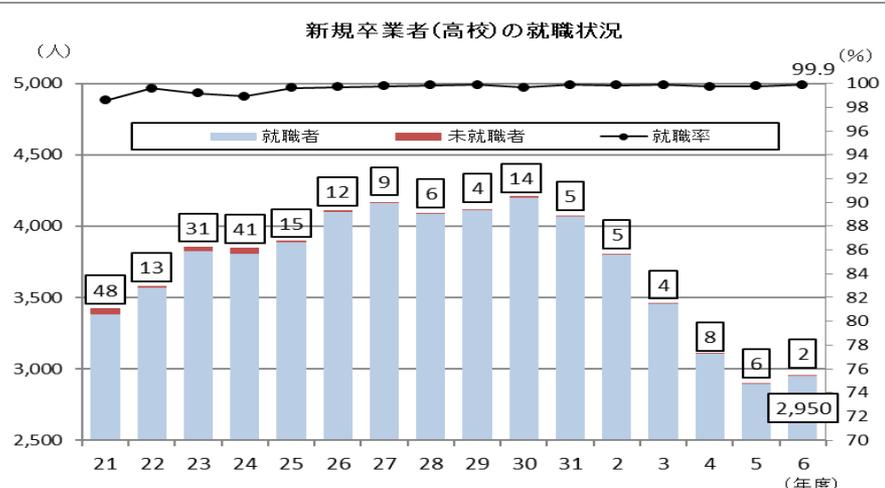


資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

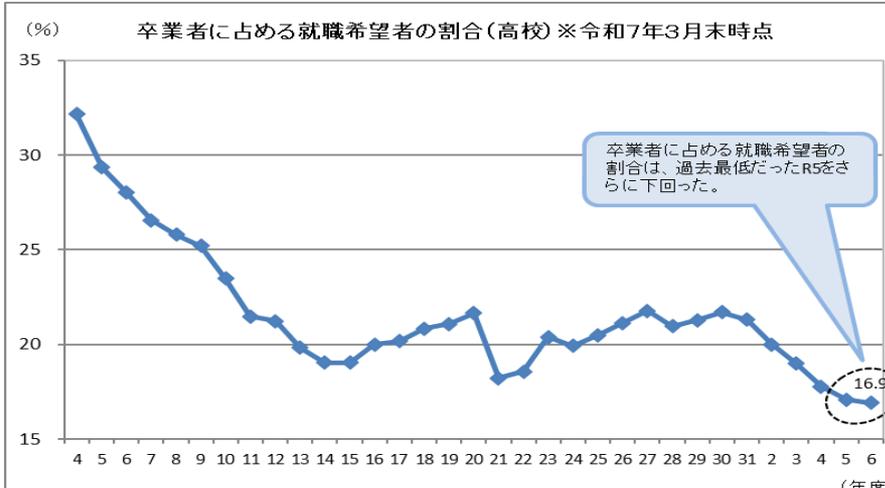


資料: 厚生労働省「高校・中学校卒業者の求人・求職内定状況等」

※R3年3月卒から「11月末」及び「1月末」は集計していない。



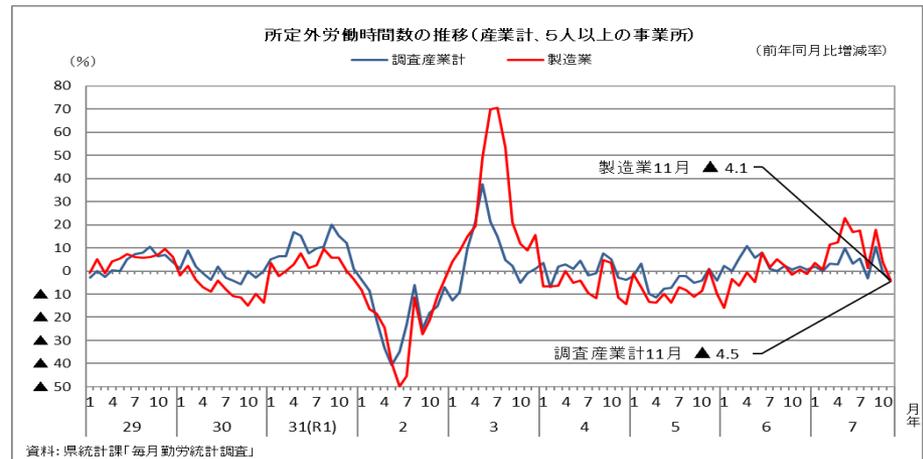
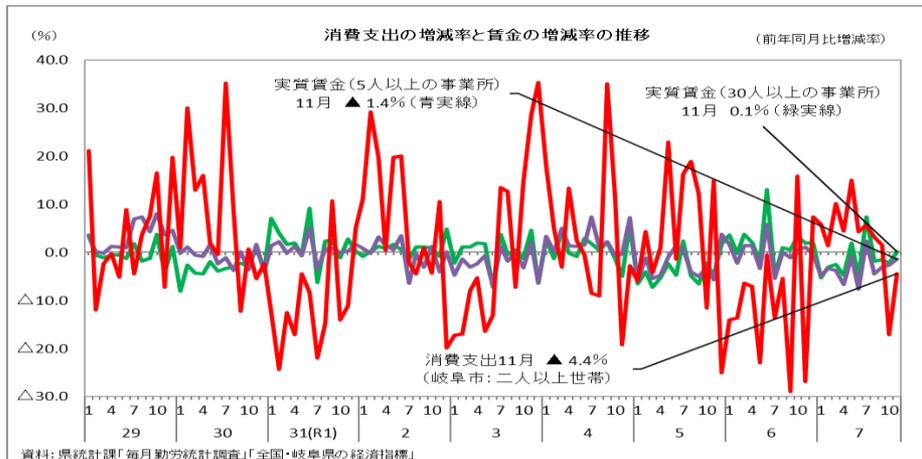
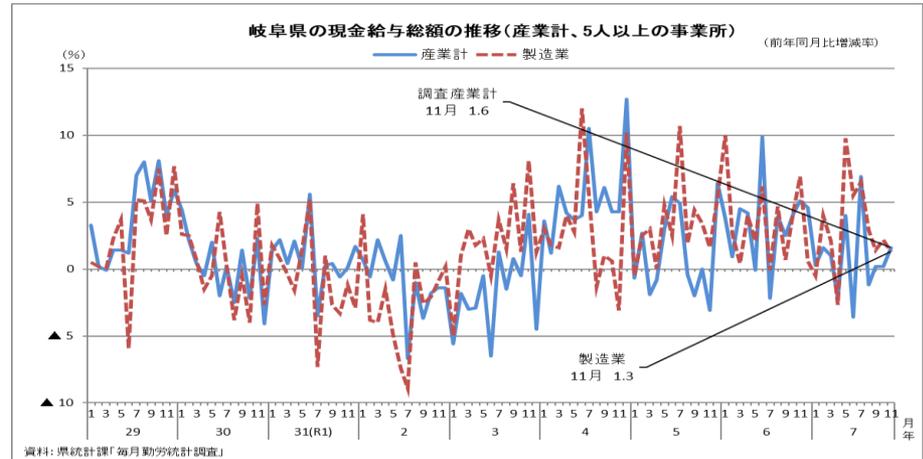
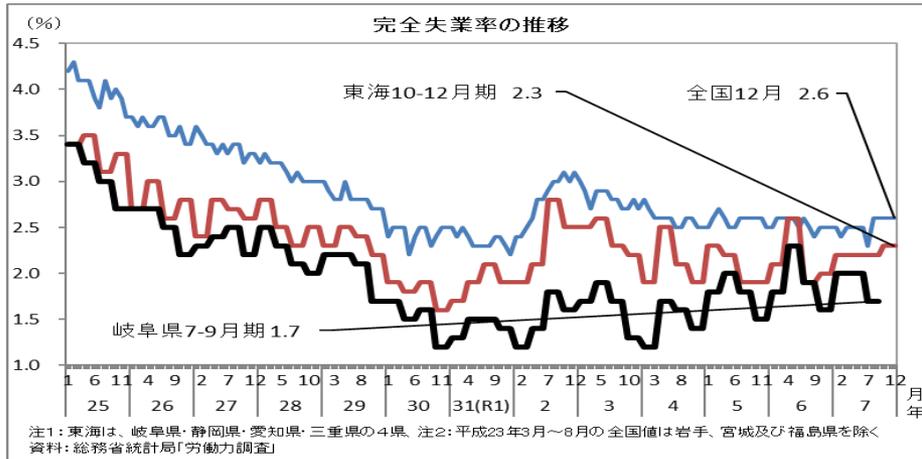
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の12月の完全失業率は2.6%で前月比同率となった。岐阜県の7-9月期の平均は1.7%で前期比▲0.3%となった。
- 11月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比1.6%、製造業で同1.3%増加となった。
- 11月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比0.1%増加、5人以上で▲1.4%となった。11月の消費支出については同▲4.4%となった。
- 11月の所定外労働時間数は前年同月比で▲4.5%となった。



# < 経済・雇用の現状（総括） >

- 製造業は、11月の鉱工業生産指数は前月比▲5.6%となった。ヒアリングでは、最低限の受注数は確保できたが、引き続き業績的には厳しい見込みとの声や、樹脂加工部門では自動車向け製品の受注が増加しているが、電子加工部門ではサーバー向けの顧客の受注が減少しているとの声、防衛関係の受注は安定していたが、工作機械全般は減少しているとの声が聞かれる。
- 地場産業は、11月の鉱工業生産指数は木材・木製品、食料品、パルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、国内販売は好調を維持しているが、海外販売はアメリカ向けの販売において出荷待ちの状況が発生しているとの声や、照明事業はインバウンドが好調でホテルからの入替などの注文が多いが、和紙の小売事業については低迷しているとの声が聞かれた。
- 設備投資は、12月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比12.0%増加となった。ヒアリングでは、業績の回復に伴い、社全体で設備投資の希望が多くなっているとの声が聞かれる一方で、設備投資は抑制しており、無人化・省人化を進める高コストな専用ラインは極力導入せず、人による作業も残した汎用型ラインへの切り替えを進めているとの声が聞かれた。
- 個人消費は、12月の販売額は、全体で前年同月比0.6%増加となった。ヒアリングでは、シネコンの好調も続いており、年度累計で客数は過去最高で売上も歴代4位となっているとの声が聞かれた。
- 観光は、宿泊者数は、前年同月と比較しマイナスになったものの、コロナ前の約9割まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、12月の制度融資実績は金額で3ヶ月ぶりに減少となった。金利上昇局面において、長期固定の商品のニーズが高まっているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、12月の有効求人倍率は1.44倍と前月比0.02ポイント上昇となった。ヒアリングでは、生産現場は高齢化が進み、新規の若い人材の確保が難しいため、業界各団体が就活ツアーを企画し、学生へのアピールを実施しているとの声や、製造難度が高い製品の受注割合が増えており、品質管理に対応できる人材が不足しているとの声が聞かれた。待遇面については、初任給も上がっている一方で、既存社員との不公平感が出ないように可能な限り、従業員一人一人と面談して話をしているとの声や、最低賃金の継続的な上昇による収益の変化について、中期的な予測を立てたとの声が聞かれた。